



# Tight-Endブリッジ / Tight-End Rブリッジ

Tight-Endブリッジは、サドルをベースプレートに固定することで、弦振動をダイレクトにボディへ伝達できるよう設計されたブリッジです。また、ブリッジ上面は突起物のないフラットな構造となっており、ブリッジに手を置いて演奏する際のストレスを軽減しています。

## 弦高調整

Tight Endブリッジは各サドルの弦高を個々に調整することができます。サドル・ロック・ボルト (Fig. 1 B) を六角レンチ (2mm) で緩め、弦高調整スクリュー (Fig. 1 A) を六角レンチ (2mm) で回してサドルの高さを調整します。

## イントネーション調整

サドル・ロック・ボルト (Fig. 1 B) を六角レンチ (2mm) で緩め、イントネーション調整スクリュー (Fig. 2 C) をプラスドライバーで回してサドル位置を調整し、チューニングを行ってからイントネーションを確認します。正しいイントネーションが得られるまで同じ調整を繰り返してください。

### ⚠️ ご注意

弦高、イントネーションの調整後は、サドル・ロック・ボルト (Fig. 1 B) を締めサドルを固定します。サドルを固定した後にイントネーション調整スクリュー (Fig. 2 C) を軽く (サドルの位置に影響が出ない程度) 締めてください。弦の振動等の影響による緩みを防ぐ効果があります。必要以上に締めると破損の原因になりますのでご注意ください。

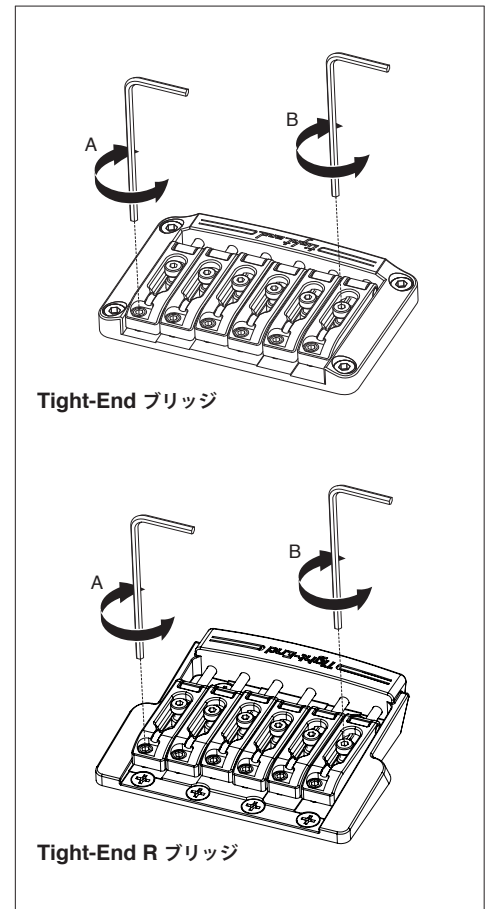


Fig. 1

## 弦交換

弦をギターのカボディ裏側から、弦止めフェラルを通して取り付けます。

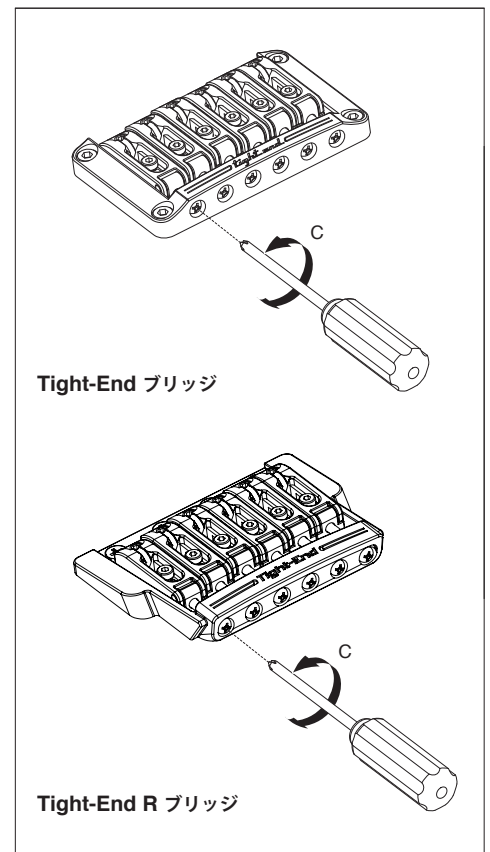


Fig. 2